ふりがな　　たけだ　まさひこ

氏 名　　**武田　真彦**

1. 学歴

1981 年　3 月　東京大学経済学部卒業

1985 年　9 月　マサチューセッツ工科大学経済学部大学院入学

1988 年　9 月　マサチューセッツ工科大学より経済学博士号取得

2. 職歴・研究歴

1981 年　4 月	日本銀行入行（営業局，鹿児島支店，金融研究所勤務）
1989 年 11 月 － 1992 年 11 月	国際決済銀行（在スイス，バーゼル）出向
1992 年 11 月	日本銀行国際局（副調査役，調査役）
1998 年 12 月	国際通貨基金（在米国，ワシントン DC）に日本国代表理事代理として出向
2000 年　1 月	欧州第一局勤務（局長補）
2003 年　1 月	日本銀行退職，国際通貨基金のプロパー職員となる
2003 年　2 月	アジア太平洋局勤務（上級審議役，局次長）
2008 年　1 月	一橋大学アジア公共政策プログラム教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（b）大学院

International Economy and Finance，Asian Economic Development，マクロ経済学

B. ゼミナール

APPP におけるゼミ

C. 講義およびゼミナールの指導方針

理論・実証のみならず，国際通貨基金を含む政策論の現場でどのように経済学が使われているかを生徒に伝えるよう，心がけている。

4. 主な研究テーマ

(1)公的債務の sustainability（2008 年 3 月，アジア，アフリカ約 20 カ国の政府から招かれた債務管理担当者に対して講演）

(2)アジアとそれ以外の地域の景気連動（2008 年 4 月，APPP の Executive Program で講演）

(3)マクロ政策における金融政策の位置付け（2008 年 5 月，アジア，オセアニア約 10 カ国の中央銀行から招かれたスタッフに対して講演）

(4)アジアの金融と債券市場育成（日本銀行国際局主催の研究会に所属し，報告等を実施）

(5)Sovereign Wealth Fund に関する研究（日本経済調査協議会主催の研究会に所属し，同研究会の内外で本件に

関する講演を実施。同研究会の主査として，最終報告書を執筆予定）

(6)国際政策協調（APPP 内外で講演。来年 1 月，日本総研の機関誌（2009 年 3 月号）に本件に関する論文を発表）。

5. 研究活動

A. 業績

（d） その他

なし（ただし，上記(4)に記した報告書，論文を執筆予定）

B. 最近の研究活動

（b） 国内研究プロジェクト

上記 4.(3)，(4)参照。

6. 学内行政

（b） 学内委員会

国際公共政策大学院 FD 委員会

7. 学外活動

（d） その他

上記 4.に記した通り，幾つかのテーマについて学外で講演活動を実施。

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

財務省国際局主催の「IMF 研究会」に所属